

緒 言

今年度よりアジア歴史文化研究所の所長を務めることとなりました。非才ながら精一杯務めたく存じます。どうぞよろしく願いいたします。

前所長の白峰旬教授（史学・文化財学科）には、この『別府大学アジア歴史文化研究所報』の復刊をはじめ、いくつもの講演会・シンポジウム・研究会開催など、本研究所の活動に大変ご尽力いただきました。この流れを受け継ぎ、研究活動およびその成果の発信に努める所存です。

今年度は、別府大学史学研究会との共催により、講演会「文書館専門職アーキビスト養成の新段階」を、2024年12月7日に本学において開催しました。本学ではかねてより学部において文書館専門職の資格取得が可能でしたが、今年度あらたに大学院にもアーキビスト養成コースが設置されました。こうした文書館専門職養成の取り組みは全国的にも進められているところです。本講演会では、かかる文書館専門職養成の歩みについて、学習院大学名誉教授・国立公文書館アーキビスト認証委員会委員長の高埜俊彦先生、本学教授・文書館専門職（アーキビスト）養成課程委員長の針谷武志先生、日出町歴史資料館・帆足万里記念館長の平井義人先生にご講演いただきました。歴史学のみならず人文・社会科学全般にとって重要な「記録の保存・管理」という営みについて貴重な知見を得られる講演会であったかと思えます。それぞれのご講演の詳細については、来年度刊行の別府大学史学研究会『史学論叢』第55号に掲載予定です。あわせてご覧いただければ幸いです。

また、昨年度に続き、この『別府大学アジア歴史文化研究所報』第25号を刊行することができました。本号は論文1本、研究ノート1本という構成となりましたが、今後、さらなる誌面の充実にも努めるとともに、講演会の開催などを通じて本研究所の活動の活性化に努めてまいります。

アジアを含む世界各地の情勢はますます混迷の度合いを深めているように感じられます。こうした状況にあっては相互理解を醸成することが肝要と考えます。本研究所の活動が、アジア諸地域の歴史・文化に関する理解を深める一助となれば幸いです。

重ねて、みなさまにおかれましては本研究所の活動へのご理解と、より一層のご指導、ご鞭撻のほどをお願い申し上げます。

2025年2月吉日

別府大学アジア歴史文化研究所長

宮 崎 聖 明